

勢和小学校だより

明日も行きたくなる勢和小

～楽しく笑って過ごせるように、目標に向かってあきらめず、やって、考え、工夫しよう～



発行日：令和8年7月16日 第8号

「明日も行きたくなる勢和小」を目指して ～広がる異学年交流～

本校では、縦割り班による掃除活動を行っています。しかし、昨年度の6年生から、「同じ班で掃除をしても、班の人の名前を知らない」「掃除の時間以外に班の人と話す機会がほとんどない」という声が聞かれました。



そこで今年度は、異学年の子どもたちが交流する機会を増やすことにしています。

大きな取組の一つが、運動会の全校表現です。学年を超え、みんなで一つの演技を創り上げることで、仲間意識を育むことを期待しました。



先週は、縦割り班ごとに校内を回りながら、ブラックサンタに変身した生活委員会から出題される「今年で勢和小学校は何歳でしょう。」などに答える学校ウォークラリーも開催されました。班のみんなで相談しながら答えを考える姿がたくさん見られました。

また、SEC人権委員会も異学年交流を意識した人権〇×クイズ大会を実施しました。「カメラで勝手に人を撮ってもいいのかな。」「性別は男女の二つだけなのかな。」など、人権に関する問題が出され、学年を超えて相談する貴重な機会となりました。

これらの取組は、学校教育目標「明日も行きたくなる勢和小」の実現につながる大切な活動です。子どもたちの関わり合いを増やすことで、安心して学校生活を送る土台になります。

これからも子どもたちのアイデアを生かしながら、異学年のつながりを深め、「明日も行きたくなる勢和小」の実現に向け取組を進めていきます。

子どもたちの成長が見えた4か月

「明日も行きたくなる勢和小に向け、子どもたちには以下のことを特に意識してほしいと話してきました。

- いじめから守る、いじめを止める ○困っている友達を放っておかない
- あきらめなくて乗り越える ○人を無視しないために自分から挨拶する
- みんなが過ごしやすいこと（ルールや遊びなど）を考える

いずれも子どもたちの頑張りがよく見られた4か月でしたが、特に「自分から挨拶する」ことは、来校された方から「目を見て挨拶してくれるのがうれしい」「こんなに挨拶のできる学校は珍しいですね」と声をかけていただくほどになりました。また、「いじめから守る、いじめを止める」ことについても、子どもたちが友達の困りごとを教職員へ伝える場面が複数あり、迅速な対応につなげることができています。

夏休み以降も子どもたちと目標を共有し、よりよい学校づくりを進めていきます。

課題があれば家族で話し合い、夏休みは規則正しい生活を

18日から夏休みに入ります。チャイムで行動する学校生活から、自分で生活リズムを調整する生活に変わります。規則正しく生活ができるよう起床時刻、就寝時刻、スマホなどのメディアに関わる時間、学習時間などについてご家族で話し合い、課題があれば再度、話し合って家族みんなで目標を共有した生活を送らせてください。また事故やけが・疾病などに気をつけ、健康的な生活を送らせてください。

■夏休みだからこそできる活動を



子どもたちが自身の新たな一面に気づいたり、興味関心を広げたりするためにも、読書や家事、自由課題など学校がある時にはなかなか時間を取れないことに挑戦させてください。ご家族と一緒に何かに取り組むことも充実した時間になることでしょう。

■夏休み期間中の閉校日 8月10日(月)～16日(日)

平日ですが、職員は出勤しておりません。緊急な連絡は、多気町教育委員会事務局（電話38-1121）までお願いします。